

2023年8月1日

国際法学会 2023 年度(第 126 年次)研究大会ご案内

このたび、本年度の研究大会を次の通り開催いたします。
ご多用と存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますよう
ご案内お願い申し上げます。

一般財団法人 国際法学会
代表理事 植木 俊哉

開催日 2023年9月4日(月)・5日(火)・6日(水)
会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター(2階～3階)
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号
< <https://www.tokimesse.com/> >

※ 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターへのアクセスおよび会場の配置
は、同封のご案内をご覧ください。

大会プログラム

第1日 9月4日(月)

◇ 午前の部 各種委員会

◇ 午後の部(14時～17時30分):全体会合1 場所 メインホール 受付開始 13時
「国際法に『違反』するとはどういうことか」

座長 関西大学教授 西 平等

1 武力行使に対する各国の評価の意義

東京大学教授 森 肇志

2 WTO 義務違反の法的帰結——紛争処理制度の再評価

早稲田大学教授 福永 有夏

3 国家が司法判断・仲裁判断を拒否するとき——近年の実行とその評価

岡山大学教授 李 禎之

4 法化する国際法?——義務違反の司法的認定を超えて

早稲田大学教授 郭 舜

理事会(18時～21時)

場所 306/307

第2日 9月5日(火)

受付開始 9時 15分

◇ 午前の部(10時～13時):全体会合2

場所 メインホール

「国家管轄権論における『違反』とは」

座長 東京大学教授 中谷 和弘

1 国家管轄権規則の動態的把握——事実とルールとの相互性

早稲田大学教授 古谷 修一

2 経済制裁と「域外適用」

関西学院大学教授 吉村 祥子

3 海洋法における管轄権論再考——旗国の排他的管轄権をめぐる最近の議論から

中央大学教授 小島 千枝

◇ 午後の部(14時30分～17時30分):分科会

第1分科会「『違反』の効果」

座長 名古屋大学教授 内記 香子

1 金融規制(バーゼル規制等)の「違反」

上智大学教授 森下 哲朗

2 知的財産保護規制における「違反」——標準必須特許をめぐる国際紛争を題材に
明治学院大学准教授 申 美穂

3 海洋法における私的基準の「違反」
日本海事センター上席研究員 中村 秀之

4 地球環境保護関連条約における「違反」
名古屋大学教授 山田 高敬

第2分科会『違反』を回避する法は機能するか

座長 東京大学教授 西村 弓

1 国際環境法における不遵守制度の現状と課題
大阪学院大学教授 繁田 泰宏

2 目標以上ガバナンス未満——SDGsの実効性
東海大学教授 小川 裕子

3 Legitimacy-talkは何を生んだのか——正統性を問う意味
関西学院大学教授 望月 康恵

4 国際調停の特性——低調の要因と将来の可能性
京都大学教授 玉田 大

コメンテーター 同志社大学教授 高杉 直

第3分科会「国際刑事法における『違反』」

座長 大阪学院大学教授 真山 全

1 中核犯罪実行者は「国際法に違反」したのか——国際法上の個人刑事責任の検討
岐阜大学教授 坂本 一也

2 ジェノサイドの責任追及とジェノサイド条約
金沢大学教授 稲角 光恵

3 (ジェノサイド罪を除く)中核犯罪の被害者とは誰か
国際刑事裁判所法務官 齋藤 デビッド 宥雅

4 ICC 規程上の犯罪の国内犯罪化とICC 規程の「違反」
南山大学教授 洪 恵子

会員総会(17時30分～18時)

場所 メインホール

懇親会(18時30分～)

場所 ホテル日航30階「鳳凰」の間

第3日9月6日(水)

受付開始9時15分

◇ 午前の部(10時～13時):公募個別報告

第1分科会

座長

中央大学教授 西海 真樹

1 国連における国家の代表権問題の検討——実効性と正統性の調和的理解を目指して

法政大学教授 田中 佐代子

2 国際法における感情——国際法律家の(脱/再)身体化

西南学院大学准教授 根岸 陽太

座長

東北大学教授 西本 健太郎

3 海面上昇に対する気候変動適応策の国際法上の位置づけ

神戸大学准教授 本田 悠介

第2分科会

座長

京都大学教授 西谷 祐子

1 気候変動訴訟と「ビジネスと人権」

——グローバル・バリューチェーンの排出に対する企業責任

中央大学教授 檜崎 みどり

座長

東京大学教授 寺谷 広司

2 行為帰属と禁反言法理——国家責任条文11条の解読

神戸大学准教授 岡田 陽平

3 欧州人権裁判所におけるコンセンサス理論

——脆弱な人びとの保護を中心とした批判的検討

早稲田大学講師 吉田 暁永

第3分科会

座長

大阪公立大学教授 桐山 孝信

1 朝鮮半島の和平交渉における自決原則の展開と意義

ソウル大学前任研究員 三浦 大樹

座長

法政大学教授 森田 章夫

2 国際人道法における「許容」規範の意味と機能——国際人道法の存在意義を再考する

宮崎公立大学准教授 田村 恵理子

3 武力紛争時の核セキュリティ

日本原子力研究開発機構研究員 福井 康人

◇ 第3日午後の部(14時30分～17時30分):公募パネル報告

第1分科会「日本の国家実行が国際法に与えた影響」

企画責任者	東京外国語大学准教授	石橋 可奈美
座長	名古屋大学教授	小畑 郁
1 企画趣旨と環境法分野における考察	東京外国語大学准教授	石橋 可奈美
2 人権法分野における日本の実行とその国際法への影響	京都女子大学教授	前田 直子
3 特権免除分野における日本の実行とその国際法への影響	名古屋大学教授	水島 朋則
4 刑事法分野における日本の実行とその国際法への影響	一橋大学教授	竹村 仁美
コメンテーター	国際教養大学教授	豊田 哲也

第2分科会「ロシア・ウクライナ戦争における戦争犯罪のウクライナによる国内的処罰
—その意義と課題」

企画責任者・座長	同志社大学教授	新井 京
1 戦況と国内手続の特徴	中京大学専任講師	保井 健呉
2 国内刑法における戦争犯罪の性質と戦闘員特権	帝京大学助教	久保田 隆
3 責任論の特徴	信州大学准教授	横濱 和弥
4 国際刑事裁判所における手続との関係	中央大学教授	尾崎 久仁子
5 ハイブリッド法廷の観点からの評価	神奈川大学非常勤講師	中澤 祐香

* Web による事前のご登録(会員限定)は、同封の「参加登録のご案内」を参考に、8 月 23 日(水)17 時まで期限厳守で必ず行ってください。

* お弁当を希望される方は、web による事前登録の際にご注文ください。当日のご注文は受け付けませんのでご注意ください。お弁当を注文されない方は、朱鷺メッセ内または会場周辺のレストランをご利用ください。

* 学会会費(一般会員 10,000 円、学生会員(院生を含む)7,000 円、維持会員 30,000 円(1 口))は、すべて郵便振替用紙で納入していただくことになっておりますので、大会期間中の会場での納入はできません。

* 新たに入会を希望される方は、入会申込書を学会ホームページで入手のうえ、8 月 21 日(月)必着でご送付ください(宛先:〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4 階 学会支援機構 国際法学会係)。入会の可否は 9 月 4 日(月)開催の理事会で決定されます。入会手続きの方が研究大会に参加を希望される場合は、事務局からの指示にしたがって、参加登録料を事前にお支払いください(一般会員 3000 円、学生会員 1000 円)。

* 学生会員の場合は、年度毎に上記学会支援機構まで在学証明書をお送りいただく必要があります。在学証明書を提出できない方は、一般会員の学会会費をお支払いください。

* 理事会は 9 月 4 日(月)18 時から朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3 階 306/307 会議室で開催されます。

* 9 月 4 日(月)午前に開催される各種委員会にご参加の方は、午後の研究大会開催前に 2 階メインホール前カウンターで事前に受付(受付開始午前 9 時 30 分)をお済ませください。

* 研究大会の実施に関するお問い合わせは、以下にお願い申し上げます。

大会運営委員長 早稲田大学 萬歳寛之

Email: h-banzai@waseda.jp

* 大会参加登録・お弁当の申し込みやキャンセルにつきましては、「参加登録のご案内」をご参照ください。

* 非会員の方で傍聴を希望される方は、8 月 28 日(月)17 時まで学会 HP 記載の申込みフォームから登録して下さい。傍聴料(一般・院生 1 日 2,000 円、学部学生 1 日 1,000 円)は、登録後の指示にしたがって事前にお支払いください。

* なお、今年度より研究大会会場での質疑応答は原則としてオンライン上で行う予定です。質疑応答への参加をご希望になる方は、各自スマートフォン、タブレット端末、ノートパソコンなどをご持参ください。会場内では会議場提供の Wi-Fi が利用できます。